

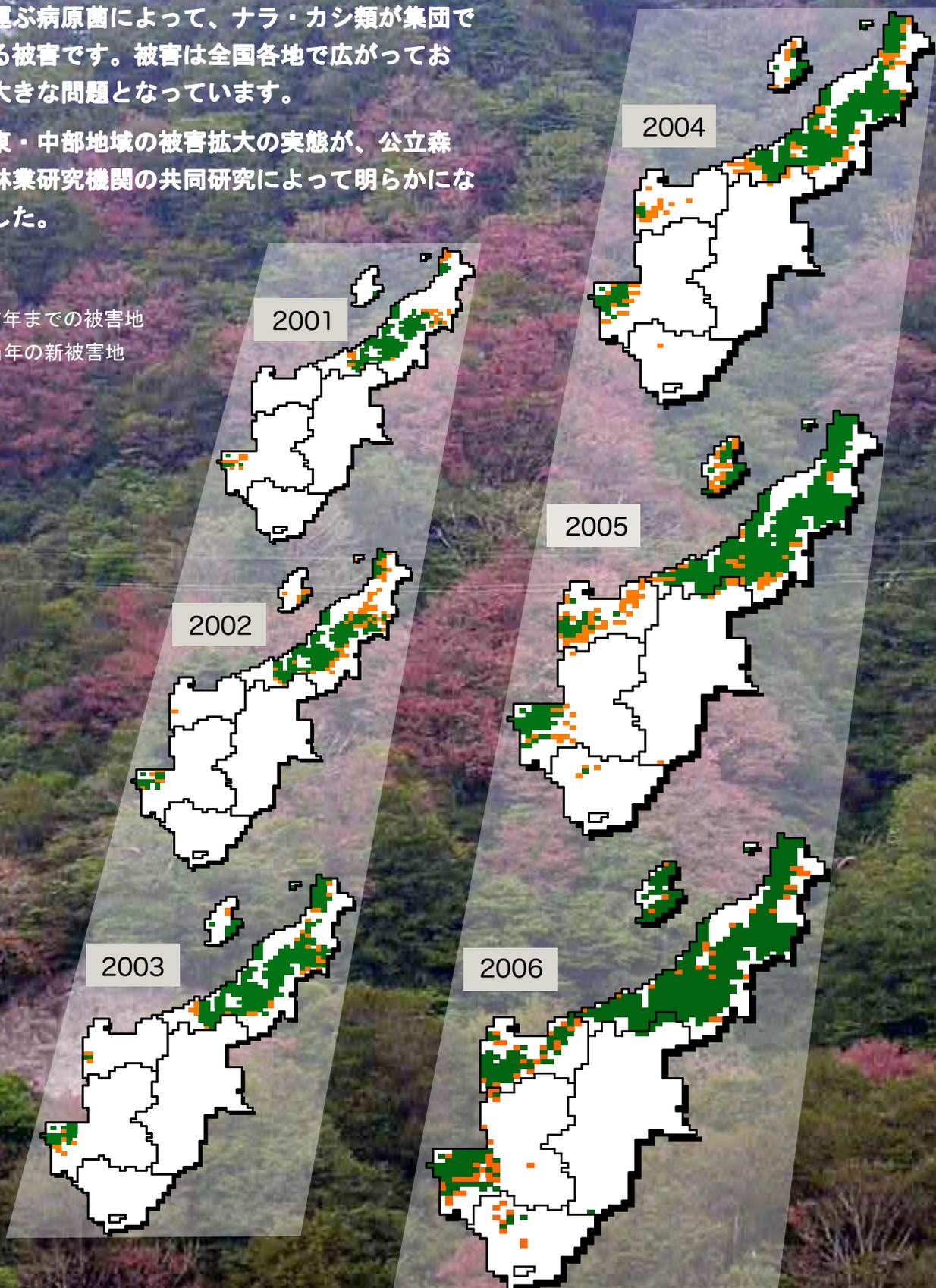
# 拡大を続けるナラ枯れ被害

関東・中部地域における推移

「ナラ枯れ」はカシノナガキクイムシという昆虫が運ぶ病原菌によって、ナラ・カシ類が集団で枯れる被害です。被害は全国各地で広がっており、大きな問題となっています。

関東・中部地域の被害拡大の実態が、公立森林・林業研究機関の共同研究によって明らかになりました。

- 前年までの被害地
- 当年の新被害地



# 関東・中部地域のナラ枯れの激しさ

## 被害の激しさ

- 1 単木的
- 2 小集団的
- 3 集団的

5万分の1地形図の範囲

本図は、1998～2006（一部2007）年における最大の「被害の激しさ」を表しています（国有林等を除く）。

新潟県：1988年に発生が確認されて以降、年々拡大を続け、2007年までには、ナラ林が分布するほぼ全域で確認された。

富山県：2002年に県西端部で確認されて以降、ミズナラを中心に被害地が拡大し、2005年には東端部に到達した。

岐阜県：1998年に初めて県西部で確認されて以降、南および東に拡大している。2005年には富山県から、2006年には福井県から被害が拡大してきている。

長野県：2004年に県北部に新潟県から被害が拡大してきた。徐々に被害地が拡大している。2005年に県南部で単発的に枯死被害が発生した。

愛知県：2004年に県西部で初めて被害が確認されて以降、年々拡大している。

被害未発生都県（2007年現在）  
群馬県、栃木県、茨城県、千葉県、埼玉県、東京都、神奈川県、山梨県、静岡県

## 被害樹種

	新潟	富山	長野	岐阜	愛知
コナラ属					
クヌギ					●
アベマキ					▲
ガシワ					
ミズナラ	●	●	●	●	●
コナラ	●	●	●	●	●
ナラガシワ	▲				
ウハメガシ					
イチイガシ					
アカガシ	△	○		●	▲
ツクハネガシ				●	○
アラカン				●	○
ウラジロガシ	●(注1)	●		○	○
シラカン	○(注1)			○	○
Pin Oak(注2)					▲(注1)
クリ属					
クリ	▲	●	▲		
クワ(栽培品種)					
シイ属					
ツブラジイ				●	△
スタジイ					△
マテバシイ属					
マテバシイ	○(注1)			○(注1)	
ブナ属					
ブナ	○		○	○	
イヌブナ				○	

●：穿孔枯死(確認)  
○：大量穿孔(確認)  
▲：穿孔枯死(情報・推定)  
△：大量穿孔(情報・推定)

注1：植栽木  
注2：別名アメリカガシワ(カナダ産の落葉高木)

このパンフレットの内容は、関東中部林業試験研究機関連絡協議会「樹木の枯死をもたらす生物害研究会 ナラ枯れ分科会（17～19年度）」の成果です。パンフレットの内容に関するご質問、あるいは新たな被害のご報告等は下記へお寄せください。

### 連絡先

分科会幹事 新潟県森林研究所 (Tel.0254-72-1172)

または各都県の森林・林業試験研究機関、ならびに(独)森林総合研究所森林昆虫研究領域まで。

発行 2008年3月

無断転載をお断りします